

2017年8月3日 ドイツ ミュンヘン

2017年度 第3四半期決算

2017年4月1日～6月30日

来年度にも続く力強い業績

「全世界の私たちのチームは本四半期、売上 8%増、利益 7%増の力強い業績を残しました。私たちのデジタルエンタープライズ関連事業は、市場をけん引する存在として強い存在感を見せています。Vision 2020 の実行は順調に進んでおり、来年度も滞りなく進めていきます」と、シーメンス AG 社長兼 CEO のジョー・ケーザーは述べています。

- 短期サイクルの事業も含み、売上は前年同期比 8%増の 214 億ユーロ
- 受注は前年同期比 6%減の 198 億ユーロ。パワー&ガス事業、およびシーメンスの風力事業とスペインのガメサ社の統合による新会社シーメンス・ガメサ・リニューアブルエナジーの大型受注が減少したことに起因する。出荷受注比率は 0.93
- 為替の影響及びポートフォリオ効果を除く比較可能なベースで、売上は前年同期比 3%増、受注は 9%減
- 産業関連部門の利益は 3%増の 23 億ユーロ。ガメサ社との事業統合、及びメンターグラフィック社の買収によるマイナスの影響は予想通りで、産業関連部門の利益率は 10.4%
- 当四半期純利益は 7%増の 15 億ユーロ。事業統合や買収によるマイナス効果にもかかわらず、1 株当たり当期純利益 (EPS) は 1.74 ユーロ (前年同期は 1.64 ユーロ)

シーメンス(全体)

(単位:100万€)	Q3		比較(%)	
	FY 2017	FY 2016	Actual	Comp.
受注	19,824	21,060	(6)%	(9)%
売上	21,413	19,804	8%	3%
産業関連事業の利益	2,250	2,191	3%	
内、退職手当	(94)	(69)		
産業関連事業の売上比率	10.4%	10.8%		
退職手当を除く	10.8%	11.2%		
継続事業からの利益	1,479	1,337	11%	
内、退職手当	(110)	(82)		
当四半期純利益	1,464	1,372	7%	
一株当たり当四半期純利益	1.74	1.64	6%	
フリーキャッシュフロー (継続事業・非継続事業)	941	1,882	(48)%	
ROCE(継続事業・非継続事業)	12.1%	13.7%		

- 前年と比較すると、パワー&ガス事業及びシーメンス・ガメサ・リニューワブルエナジーからの大型受注が大幅に減少したことによる受注減。大型受注の変化を除くと、受注は大幅増
- 産業関連部門の受注残は 1170 億ユーロ。為替のマイナス影響をポートフォリオ効果による増加が一部相殺
- ほぼすべての産業関連部門において売上増。特にシーメンス・ガメサ・リニューアブルエナジーの統合による力強い成長で、同時に、モビリティ事業とデジタルファクトリー事業も 2 桁成長を遂げた。また、すべてのレポート地域でも売上は伸びた。予想通り、パワー&ガス事業の契約地域においては大幅な売上減
- ポートフォリオ効果が受注に 3%、売上に 6%のプラスの貢献。年間を通じての大幅成長により為替によるマイナスの影響は最小にとどまる
- 大半の産業関連部門で改善を見せ、利益は増加。Healthineers とデジタルファクトリー事業が利益と利益の改善に貢献した。特に、デジタルファクトリー事業の短期サイクル事業が好業績だった。デジタルファクトリー事業におけるメンターグラフィックスの買収や、ガメサ社との統合が、産業関連部門の利益率に 0.6%のマイナス効果を与えた。また、見込み通り、パワー&ガス事業の厳しい競争環境により同事業の利益は減少
- 継続事業の純利益と純利益: 産業関連事業以外では、事業統合に係る無形資産の償却費が 1 億 6,100 万ユーロから 3 億 3,900 万ユーロに増加。主にガメサ社との事業統合とメンターグラフィックス社の買収による。前年同期よりも低い税率も影響した
- 産業関連部門が 2017 年度の 9 カ月間にわたって 46 億ユーロの力強いフリーキャッシュフローを生み出す(前年同期は 35 億ユーロ)。産業関連部門の今期のフリーキャッシュフローは 13 億 9,700 万ユーロ(前年同期は 19 億 1,400 万ユーロ)。フリーキャッシュフローの減少は主にシーメンス・ガメサ・リニューワブルエナジーの賞味運転資本の増強による
- 平均投下資本の明らかな増加により、ROCE は減少。主にメンターグラフィックスの買収とガメサとの事業統合による
- 2017 年 6 月 30 日時点でのシーメンス企業年金及び類似債務は 98 億ユーロ(2017 年 3 月 31 日時点では 105 億ユーロ)。割引率の上昇により積み立て不足を一部減少させた

将来の業績に関する見通し

このリリースには、過去の出来事ではなく、将来の業績に関する見通しや情報が含まれています。「期待する」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「信じる」、「模索する」、「推定する」、「予定する」といった言葉やその類義語は、将来の業績に関する見通しに該当する可能性があります。こうした見通しは、当社の現時点での予測と一定の前提に基づいており、したがって、特定のリスクや不確実な要素に左右されることがあります。シーメンスの事業活動、事業戦略、業績に影響を及ぼす要素はさまざま、その多くはシーメンスには制御不可能なものです。そのため、シーメンスグループの実際の業績、活動、成果は、こうした将来の業績に関する見通しの記述や暗示とは大きく異なる可能性があります。特定の不確実な要素には、景気や取引状況の変化、為替動向や金利の変化、他社による競合製品・技術の導入、シーメンスグループの新しい製品・サービスの不振、事業戦略の変化やその他のさまざまな要素の変化などが含まれます。万一、これらのリスクや不確実な要素が現実のものになれば、実際の業績は将来の業績の見通しの予想、確信、予測、期待、意図、計画、予測とは大きく異なる可能性があります。シーメンスは、将来の業績に関する見通しの作成後に発生する出来事に照らして見通しを更新、修正する意図はなく、またそうした義務を負うものではありません。

【参考資料】

本資料はシーメンス AG(ドイツ・ミュンヘン)が 2017 年 8 月 3 日(現地時間)に発表したプレスリリースの一部を日本語に抄訳したものです。本資料の正式言語はドイツ語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。原文プレスリリースおよび関連資料は以下の URL よりご覧いただけます(英文)。

<https://www.siemens.com/press/en/events/2017/corporate/2017-q3.php>

報道関係からのお問い合わせ先:

シーメンス株式会社

コミュニケーション部 中川

E-mail: rie.nakagawa@siemens.com